

ふれあい学習「収穫祭」

令和元年9月30日
教務部教育計画係

1 日時・場所

9月13日（金） 3～5校時 ワークスペース・家庭科室

2 時数（前日～当日）

- 1・2年…生活科4時間
- 3・4年…総合的な学習4時間
- 5・6年…総合的な学習2時間・家庭科2時間

3 メニュー

学年	メニュー	配慮事項
1・2年	ドライトマト（おみやげ）	
3・4年	枝豆の塩ゆで	豆の堅さ（誤嚥に気を付ける） 塩分
5・6年	ご飯・肉じゃが （肉の代わりにさつまあげ・じゃがいも・ んじん・玉ねぎ・しらたき）	じゃがいもの大きさ（誤嚥に気を付ける）

※材料の分量・調理法は別紙

4 目標・内容・評価基準(別紙)

5 各学年で必要なもの・購入するもの

学年	必要な用具・材料等
1・2年	・ドライトマト作り （オープン or 電子レンジ・キッチンペーパー・トマト・塩・包丁・まな板・ドライトマトを入れる袋） ・会場のテーブル準備（きれいな雑巾・洗剤・テーブルクロス） ・招待状、席札（画用紙・色画用紙）
3・4年	・エダマメの塩ゆで （食塩、キッチンばさみ、ボウル、紙皿、大きいコンロと鍋）
5・6年	・収穫祭の司会シナリオ ・さつまあげ（肉の代わりにの食材）・調味料（醤油など）

購入するもの	・紙皿・割り箸・紙コップ・袋・キッチンペーパー・ゴミ袋・さつまあげ・醤油 ・みりん等調味料
--------	--

6 役割分担

- 友朋学級への連絡…教頭
- 収穫祭計画…教務教育計画係
- 当日のお茶・食材・紙皿などの買い出し
- 記録（写真）

- 歌の CD・ラジカセ準備…教育計画係
- お茶（ジャグ）の準備
- 友朋学級の荷物置き場・ブルーシート・靴を置く長机・靴を履くための台
・案内板・ハンガーラックとハンガー…教育計画係

7 児童の準備

- ・ハンカチ，ティッシュ，白いご飯（児童と教員）
- ・はしセット，エプロン，バンダナ
- ・爪を切って清潔にするよう指導しておく

8 友朋学級のかたの靴・荷物・案内等について

- 玄関に靴の着脱用の補助台を置く。
- 靴置き場を用意する（長机にブルーシートを掛けておく）。
- ワークスペースに，荷物を置く長机を 2 つ用意する。
- 上着を掛けるハンガーラックとハンガーを用意する。
- ◇児童玄関より入っていただく。
- ◇児童玄関から 2 階へ案内する（案内板設置・児童の案内）。

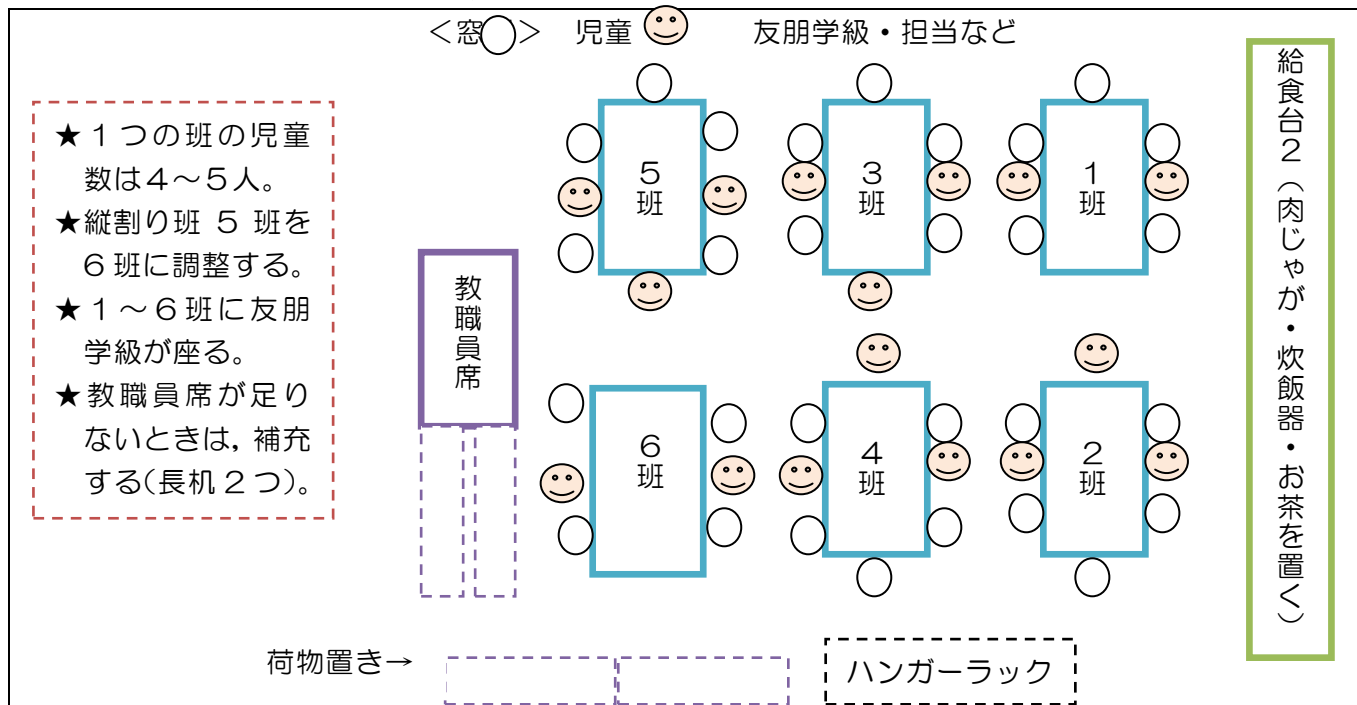
9 会食時のインタビューについて（高学年児童）

＜インタビュー内容＞
①「学校農園で作ったじゃがいもの味は，いかがでしたか？」
②「班の子どもたちとのお話は，楽しかったですか？」
③「今日の収穫祭は，いかがでしたか？」
④「枝豆の味付けは，よかったですか？」
⑤「今日の肉じゃがの味付けは，よかったですか？」
⑥「ぼくたちが作った玉ねぎの味は，いかがですか？」
⑦「肉じゃがは，おいしかったですか？」
⑧「枝豆は，おいしかったですか？」
⑨「子どもたちとの交流は，楽しかったですか？」

10 当日の日程（予定）

	高学年	中学年	低学年	友朋学級
9:25				
10:25	2・3時間目 （家庭科） ・肉じゃが調理 ・米を炊く	2時間目：授業	2時間目：授業	<ul style="list-style-type: none"> ・12:00～12:15に、来校 ・玄関でスリッパを履き、2階ワークスペースに行く。 ・荷物、上着は2階ワークスペースの荷物置き場へ。
11:10	4時間目：授業	3・4時間目 枝豆の塩ゆで	4時間目（生活） ・ラッピング ・会場準備	
12:00				
12:20	盛りつけ・お茶を入れる	低・中学年の児童が、友朋学級を会食の席へ案内する。		
12:55	<p>○司会・・・高学年</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 はじめの言葉（高学年児童） 2 野菜とメニュー・いただきますのあいさつ（高学年児童） ～会食～ 3 会食中のインタビュー（高学年児童） 4 ごちそうさまのあいさつ（高学年児童） 5 全校の歌 6 友朋学級代表の方の挨拶 7 学校長あいさつ 8 おわりの言葉（高学年児童） 			
13:00	見送り			
13:10	○友朋学級の見送り・・・玄関まで ※安全に留意する。			
13:20	後片付け			
	（総合1） ○食器や鍋など調理器具や家庭科室全体の片付け	（総合1） ○ワークスペースの片付け（テーブルやイスの片付け・ごみなど）	（生活1） ○ブルーシート・スリッパの片付け ○自分たちで準備したものの片付け	
	○学習の振り返り			
13:50				
13:50	昼休み			
14:05				
14:10～	帰りの会			
14:20				
14:30	下校（A5日課）			

11 会場図 (ワークスペース)



11 実施後



1年生は席札を作るなど会場準備をしたり、友朋学級を案内したりし、自分たちができる仕事を考えて行動することができた。2年生は、収穫したミニトマトと一緒に味わえるように手を加えてドライトマトを作った。ミニトマトの酸っぱさや彩り《赤・黄》を楽しむことができた。

3・4年生は、育てたじゃがいもを使い、ニョッキを作った。ゆでたりこねたりして、形を整えて焼き、お皿に盛りつけた。



5年生は、家庭科の授業でご飯を炊いた。米の吸水や加熱の仕方が分かり、安全に気を付けてご飯を炊くことができた。6年生は、育てた野菜を使って肉じゃがを作った。食品を、料理に合った形に切ったりゆでたりし、手際よく調理をすることができた。会食の場面では、声の大きさや話し方に気を付けて司会やインタビューをすることができた。

会食では、友朋学級と、料理や野菜の栽培などを話題として交流した。会食後は、全校で「優しいあの子」を歌い、練習の成果を披露した。



- 1年生は、「自分にできる仕事をして、地域のかたに喜んでもらう。」ことを目標とし、学習を進めた。ふり返りでは「歌で喜ばせることができた。」「歌を歌って、喜んでもらった。」などの声が聞かれ、目標を達成していた。
- 2年生は、「収穫の喜びを、友朋学級のかたと一緒に味わおう。」という目標を設定した。収穫したトマトをドライトマトにし、ラッピングしてお土産を作った。また、会場設営や席札作りなどを行った。「ドライトマトを喜んでくれた。」「おいしいと言ってくれた。」など、友朋学級のかたと収穫を喜ぶことができた。
- 3・4年生は、「収穫の喜びを一緒に味わう。」「友朋学級の方との交流」を目標とし、育てた枝豆を塩ゆでし、提供する計画を立てた。枝豆の収穫が早まったため、当日はじゃがいもを使い「ニョッキ」を作った。友朋学級の方からは「おいしい。」「初めて食べた。」「新しい料理を知ることができてうれしい。」などの感想があげられた。育てた野菜を使って調理し、収穫の喜びを味わうことができた。どのように交流したらよいのか、どのように声を掛けたら楽しく会話をすることができるのかなど、交流についての活動は工夫が必要であった。
- 5・6年生は「年代に応じた接し方の理解と技能」「地域の方への感謝の気持ちとよりよい人間関係の構築」を目標とした。会食では、家庭科で調理したご飯と肉じゃがを提供した。育ててきた野菜やメニューを友朋学級の方に分かりやすく伝えたり、膝を曲げて相手の目線に合わせてインタビューをしたりするなど、年代や状況に応じた接し方をすることができた。
- 今年度は、「ふれあい学習」の単元で行った。栽培した野菜や調理に関わる学習が中心となっているため、次年度は「食育」の単元で行うことを考える。
- 次年度は、当日までの日程(下記)を計画に追加する。

<当日までの日程>

	学校(窓口・担当者)	地域のコーディネーター
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターから校長へ情報提供 ・教育課程との整合性を点検 ・校長と教頭による内容の点検と共有 ・校長と地域コーディネーターによる、実施の有無と規模、該当する教科と領域の確認と決定 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・教頭が友朋学級担当者に連絡 ・教頭と友朋学級担当者と打合せ ・教務教育計画係は打合せをもとに計画を作成。教頭に提出し、収穫祭の内容について報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校長と地域コーディネーターは、進捗状況と依頼先の状況を確認 ・校長と地域コーディネーターは相互に情報を提供し共有 ・教育課程との整合性を点検 ・校長と教頭による内容の点検と共有
9月 13日	<p>収 穫 祭</p>	
後日	<ul style="list-style-type: none"> ・友朋学級担当者に礼状送付（教頭） 	<ul style="list-style-type: none"> ・校長と地域コーディネーターは相互に情報を提供し共有 ・教育課程との整合性を点検 ・校長と教頭による内容の点検と共有
	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議で全職員によるふり返りと次年度に向けた検証 	

<単元の指導計画>

<1・2年>

教科 単元	1 学年				2 学年			
	目標	内容	学習の過程	評価基準	目標	内容	学習の過程	評価基準
生活科「かぞく にこここ 大きかせん」	① トマトの収穫の様子を写真でとる。② トマトの収穫の様子を写真でとる。	ドライトマト作り			育った野菜の大きさを確かめて収穫し、収穫の様子を写真でとる。	ドライトマト作り	苗を植えたときの様子を想起させ、野菜の生長(変化)に気が付けさせる。	野菜の成長に関心をもち、小さな苗が成長したことや野菜にも命があることに気付いている。【見】共言・行動
③ 収穫祭の準備	収穫祭の準備	会場準備 席札作り	自分の役割を分担し、準備を進める。	収穫祭の準備で、自分が役割を担っている。【見】共言・行動	収穫の喜びを友達に伝えることができる。	会場準備 席札作り	収穫をみんなの喜びにするために、声をかけようとする。	収穫を喜び、みんなの準備に取り組みんでいる。【見】行動・共言
④ 会食	会食	会食	自己紹介や野菜の話をしようとする。	自己紹介や野菜の話をしようとする。【見】共言・行動	会食を通して、収穫の喜びを友達に伝えることができる。	会食	自己紹介や野菜の話をしようとする。	収穫の喜びを、自己紹介の言葉で友達に伝える。【見】共言・行動
④ 収穫祭の準備	収穫祭の準備	ブルーシートやスリッパの片付け	自分の役割を分担し、準備を進める。	収穫祭の片付けで、自分が役割を担っている。【見】共言・行動	ブルーシートやスリッパの片付け	ブルーシートやスリッパの片付け		
④ 収穫祭の準備	収穫祭の準備	ふり返り	どんなことをしたのかを想起させる。	自分でできることを思い出して、友達に伝えていく。【見】共言・行動(後日、事後指導)	収穫祭をふり返り、収穫の喜びや友達学級の思い出を振り返ることができる。	収穫祭のふり返り	ドライトマト作りや会食を想起させる。	収穫祭をふり返り、収穫の喜びや友達学級の思い出を振り返ることができる。【見】共言・行動(後日、事後指導)

<3・4年>

3学年・4学年				
領域 単元	総合的な学習の時間 「ふれあい学習・収穫祭」			
	目標	内容	指導上の留意点	評価基準
①	収穫祭で調理する枝豆の収穫を通して、友朋学級の方と一緒に収穫の喜びを味わったり、交流したりしようとする意欲をもつことができるようにする。	枝豆の収穫	収穫した枝豆を友朋学級の方と一緒に食べることを意識できるような声掛けをする。	友朋学級の方と交流しようとする意欲や関わることの大切さを感じている。 【学びに向かう力・人間性】行動・発言
②	友朋学級の方と一緒に収穫の喜びを味わったり、交流したりするための方法を考え、取り組むことができるようにする。	友朋学級の方に選んだ豆のゆで方（柔らかさ）や味（塩の量）を考え、話し合う。 枝豆をゆでる。	友朋学級の方になったつもりで、豆の堅さや味について考えてみるように促す。 自分のできそうな仕事を見付けて取り組むように促す。	相手の立場になって考えたり、交流するための方法を考えたりし、発表したり友達と話し合ったりしている。 【思・判・表】発言・発表
③	友朋学級の方と一緒に収穫の喜びを味わったり、交流したりするための方法を考え、取り組むことができるようにする。	収穫祭の会食で、友朋学級の方どのように交流するかについて、事前に学んだことを思い出し、確認する。	事前指導で使用した写真などを使い、苗植えの時のことを思い出させ、話題を考えられるようにする。	相手の立場になって考えたり、交流するための方法を考えたりし、発表したり友達と話し合ったりしている。 【思・判・表】発言・発表
会食	友朋学級の方に選んだ接し方があることを理解して接することができるようにする。	会食	相手の顔を見て話すように促す。 前時の学習を想起させ、思い出したことを話すように声を掛ける。	ゆっくりと大きな声で挨拶、返事をしたり、会話をしたりしている。 【知・技】行動・会話
④	収穫祭を通して、自分たちを見守って下さっている方への関心や感謝の気持ちを持ち、よりよい人間関係を構築しようとしている。	ワークスペースの片付け 収穫祭のふり遊び	友朋学級の方とのさげや表情、自分お気持ちを出させ、交流してよかったことは何かを考えさせる。	交流を通して、感謝の気持ちや人と関わることの大切さを感じている。 【学びに向かう力・人間性】発言・発表

<5・6年>

5・6学年						
領域 単元	総合的な学習の時間 「ふれあい学習・収穫祭前日準備」					
	目標	内容	指導上の留意点	評価基準		
①	野菜の収穫を通して、友朋学級の方においしく食べてもらおうという気持ちや進んで交流しようとする意欲をもつことができるようにする。	野菜の収穫	野菜を収穫する時に、これからどんな料理になるのかを想起させ、調理や食べさせる相手への思いをもたせる。	友朋学級の方においしく食べてもらおうという気持ちを持ち、丁寧に収穫している。 【学びに向かう力】行動・発言		
		5 学年		6 学年		
教科 題材	家庭科 「食べて元気に：ご飯を作ろう」		家庭科 「くふうしよう おいしい食事：身近な食品でおかずを作ろう」			
②	米とご飯の違いに着目し、軽量・吸水・加熱の仕方によっておいしいご飯になることが分かる。	ご飯の炊き方を調べる。 計量・火加減・時間を工夫して炊き、米がご飯になっていく様子を観察する。	見たり目やにおいに注目させ、米とご飯の違いに気付かせる。	ご飯の調理の仕方について理解している。 【知・技】 発言・ワークシート	友朋学級の方と一緒に会食するという目的や、材料にあった調理法や、協力しながら肉じゃがを作る。	友朋学級にどんな方がいるか予想させ、友朋学級の方に会食するという目的や、材料に応じた調理法をどうしたらよいか考えさせる。 【技】行動・発言
③	ご飯の炊き方について、振り返る。					
5・6学年						
領域 単元	総合的な学習の時間 「ふれあい学習・収穫祭」					
	目標	内容	指導上の留意点	評価基準		
会食	友朋学級の方に会った接し方が大切であることを理解し、それらを生かして接することができるようにする。	会食	学習したことやこれまで関わってきた活動を想起させ、話題にするように促す。	共通の話題を見付けてゆっくりと大きな声で話しかけたり、友朋学級の方の話を傾けたりしている。 【知・技】会話・行動		
④	収穫祭を通して、見守って下さっている地域の方に感謝し、これからも関わっていかうという思いを持つようにする。	調理や会食の片付け 収穫祭のふり遊び	これまで関わってきたことやこれからの活動を想起させ、自分はどうにか関わっていかうかを考えさせる。	感謝の気持ちや人と接するときの大切さを感じ、これからの学習や生活に生かしていくこととする。【学びに向かう力】発言・発表		